競　技　注　意　事　項

１．競　技　方　法　　２０２６年度日本陸上競技連盟競技規則による。

２．アスリートビブス　個人アスリートビブス（男女赤字）を胸背部につける。ただし、跳躍競技は、胸背いずれかでよい。トラック競技に出場する選手（リレーの１～３走者を除く）は全員腰ナンバー（大会本部で用意する）を右腰後方に付ける。

３．招　　集　　○競技者は招集完了時刻の１０分前までに招集所に集合し、点呼を受ける。
○招集完了時刻は、トラック競技は競技時刻の２０分前、棒高跳は１００分前、それ以外のフィールド競技は４０分前とする。四種競技のフィールド種目は競技開始の３０分前とする。
○当日欠場する場合には、事前に招集所に棄権届を提出すること。
○招集時刻に遅れた選手は棄権とみなす。
○四種競技の第一種目（ハードル）と第四種目（男子４００ｍ、女子２００ｍ）の招集については、他の種目と同じ手順で招集を行う。第二種目以降のフィールド種目の招集については現地において競技開始時刻の３０分前までに行う。
○招集所は、本競技場内雨天走路と補助競技場内招集テントの２か所を設置する。本競技場で行う種目に出場する競技者は雨天走路で招集を受け、補助競技場で行うトラック種目の競技者は、補助競技場内の招集テントで招集を受ける。円盤投の招集は本競技場招集所で行う。
○雨天走路への出入りについては、１００ｍスタート地点後方、第４ゲートに限る。

４．練　習　場　　ウォーミングアップ場は補助競技場とするが、競技を行っている時間帯は、本競技場バックストレート側を開放する。本競技場、補助競技場でのレース中のウォーミングアップについては、マーシャル並びに競技役員の指示に従うこと。投げる行為は禁止。

５．使　用　器　具　　器具は本部で用意したものを使用すること。バトンも本部で用意したものを使用し、レース後ただちに係員に返すこと。

６．トラック競技　　○不正スタートをした競技者は１回目で失格とする。ただし、男女四種競技においては、各レースでの不正スタートは１回のみとし、その後に不正スタートをした競技者は、すべて失格とする。
○タイムレースとし決勝は行わない。同組、別組とも同記録は同順位とする。
○短距離では、事故防止のためフィニッシュライン到着後、自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。
○リレーオーダーは、事前に配布されたオーダー用紙に記入し、１２：００までに本競技場の招集所に提出すること。その後、オーダー変更する場合は、ルールに準じる。
○リレーのユニフォームは上下とも同一色を基本とする。色がそろっていれば、ランパン・スパッツ、ランシャツ・セパレートが混在していてもよい。

７．フィールド競技　　○走幅跳・砲丸投・円盤投は３回試技とし、トップ８は行わない。
○フィールド競技の競技場所は、以下の通りとする。
四種競技・走高跳・棒高跳・走幅跳・砲丸投は、本競技場で実施する。
円盤投は、補助競技場で実施する（招集は本競技場で行う）。

８．バーの上げ方　　共通走高跳・四種走高跳は、最初の高さは当日決定する。上げ幅は 5cm とする。
共通棒高跳は、最初の高さは当日決定する。上げ幅は 10cm とする。

９．シ　ュ　ー　ズ　　靴底の最大の厚さについては、以下のようにする。
トラック種目・跳躍種目ともに　20mm まで
ただし、選考会の 3000 mは 40mm までとする。

10. ス　パ　イ　ク　　トラック種目・走幅跳・棒高跳は 9mm 以下、走高跳は 12mm 以下とする。

11. そ　　の　　他　　○当日審判員のいない学校・クラブチームは、選手の出場を停止する。
○当日の選手の変更は一切認めない。
○競技する選手以外はトラック、フィールド内に立ち入ることはできない。
○「テント」はスタンドの最上段付近に設営すること。「のぼり」はスタンドの最上段の手すりのみ設置可。
○中学生は携帯電話等の電子通信機器を競技場内では原則として使用しないこと。
○写真・動画撮影については大会本部より許可されている場所・方法以外での撮影は禁止とする。
○トランシーバーを使用する場合には、本部で使用する７・８・９・１０チャンネルの使用を禁止する。
○フィールド競技の手拍子については、本大会においては行わないこと。